



なぞって練習

早朝の帰りが少しおくれ  
れて、日のさしそめた  
ころに出かける源氏の  
姿には、世間から大  
騒ぎさされるだけの美は  
十分に備わっていた。

今朝も五条の蔀風の  
門の前を通った。以前  
からの通り路ではある  
が、あのちよつとした  
ことに興味を持ってか  
らは、行き来のたびに  
その家が源氏の目につい  
た。幾日かして惟光  
が出て来た。

■ 参考

※蔀風【つやみぶかぜ】

※路【みち】

(青空文庫のフリガナより)